

6月度の委員会の主なとりくみ (5/21~6/20)

とりくみ内容別	委員会数	参加人数
 産地工場見学	5	86
 取引先を講師に学習会	3	43
 内部学習会	2	41
 試食会	1	100
 etc. その他のとりくみ	7	631
合 計	18	901

 JA全農ミートフーズ見学
 5月23日 中央地域活動委員会 (大阪市)

 川口水産見学
 5月26日 ながお地域活動委員会 (枚方市)

 日清商事
 5月27日 明德・三井パル委員会 (寝屋川市)

 パル委員さんおすすめの商品試食会
 5月27日 都島南地域活動委員会 (大阪市)

 etc. パルカフェ
 5月27日 西地域活動委員会 (大阪市)

 etc. 親子クッキング
 5月28日 横堤パル委員会 (大阪市)

 北坂養鶏場見学
 5月30日 やまだ地域活動委員会 (枚方市)

 ぱるむ (お葬式)
 6月1日 港地域活動委員会 (大阪市)

 etc. 和菓子作り体験
 6月1日 中宮・中宮北パル委員会 (枚方市)

 etc. 全国一斉水質調査と河川調べ
 6月5日 都島南地域活動委員会 (大阪市)

 etc. 第13回身近な水環境の全国一斉調査
 6月5日 大阪合同まちづくり連絡会 (大阪市)

 etc. 甘酒を作ろう
 6月8日 パーク北パル委員会 (枚方市)

 なかむら農園見学
 6月10日 寝屋川中央合同パル委員会 (寝屋川市)

 福島原発視察のお話
 6月13日 大東東地域活動委員会 (大東市)

 ちきりや
 6月14日 城東北地域活動委員会 (大阪市)

 天生水産
 6月15日 茨田西パル委員会 (大阪市)

 なかむら農園見学
 6月17日 枚方中央地域活動委員会 (枚方市)

 etc. 住之江区民まつり&エコロジー
 6月19日 住之江地域活動委員会 (大阪市)

5月27日・都島南地域活動委員会



パル委員が見学や学習して、おすすめしたい7つの商品を試食しました。初めて試せた商品もあり、親子づれにも好評でした。井葛タ竹内、クラブコスメチックス、ユアサの方々にも来ていただいて交流しました。
 また、店舗の「毎週金曜日はぱるるんカードでコープ商品5%引きの日」のお知らせもしました。

※とりくみのお知らせは該当地域の共同購入・個配の組合員さんにお届けしています。

みんなに広めよう!!

私のお気に入り募集!!

- 食べた感想、使った感想
- わが家での使い方 (アレンジレシピも大歓迎)
- おすすめポイント など

- お気に入り商品の名前 (雑貨でもOK)
- 商品のエピソード

- ①住所
 - ②お名前
 - ③組合員コード
- をご記入のうえ、お気軽にご応募ください!!

「これよく買うよ!」「これ便利!」そんなみなさんの生協のお気に入り商品をぜひ教えてください!! ご応募お待ちしております☆



写真も一緒に

- (例) ●商品と人物が一緒に写っているもの
※お写真はご本人さんでも子どもさんでもOKです
- 使っているところの写真 (料理の写真など)

※応募いただいた写真はお返しすることができません。ご了承ください。

ご応募いただきました内容は、順次ぱるタイムで紹介させていただきます。ご紹介させていただいた方には図書カードをプレゼント☆
 ※商品のリクエストコーナーではありません

郵送の場合：〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-5-26 おおさかパルコープ 機関紙ぱるタイム係
 メールの場合：paltime@palcoop.or.jpまでお送りください。



デラウェア収穫体験(なかむら農園)

6月17日 枚方中央地域活動委員会(枚方市) 参加17名 (うち子ども3名)



仲村さんご夫妻



産地 デラウェア 冷蔵
 200g+50g 2~4房
 次回企画：8月2回

共同購入でおなじみの「産直デラウェア」を生産している、羽曳野市なかむら農園へデラウェア収穫体験に行ってきた。全国有数のぶどう生産高を誇る羽曳野市のなかでも、なかむら農園は生協を専門としてぶどう作りをされています。生産者の仲村さんご夫妻からは、ぶどう作りの歴史や出荷までの流れだけでなく、「組合員さんにおいしいぶどうをお届けしたい!」という熱い想いをうかがうことができました。



※ジベレリン 植物ホルモンの一種で、本来は種の中で生産されるものです。人工的に合成したジベレリンの安全性は検証されています。

帰りは道の駅で買い物★アジサイがきれいに咲いていました

戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ ~滋賀県平和祈念館見学~

4月28日 すぎ地域活動委員会(枚方市) 参加20名



滋賀県に平和祈念館があることを皆さんご存知ですか? 県民の戦争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び平和を願う心を育てるための拠点となる施設として、東近江市の既存施設を活用して2012年に建設されました。
 見学だけではなく学習をしてほしいという思いで、ボランティアガイドの佐々木観高さんに、当時の生活や、戦争に教員を志した若者が否応なく戦争に巻き込まれた様子をスライドを使って話していただきました。佐々木さん自身もお父様を戦争で亡くされ、お寺を継ぐことになり周りの大人から「戦死者の遺骨を拾い供養しなさい」と、沖縄・フィリピンに行くことになった。この体験が平和活動のきっかけになったと話していました。
 館内の展示は、戦争末期の昭和18年、戦況悪化で不足した戦場の指揮官や航空兵を補充する



ボランティアガイドさんのお話をじっくり聞く

ため、滋賀師範学校(現在の滋賀大学教育学部)でもたくさん卒業生が出征、生還の可能性がない特別攻撃隊に志願し、戦争に巻き込まれた若者の収集された資料でした。
 戦後70年以上が経過しているのに、今も零戦が琵琶湖に沈んでいる…。日本のいろいろな場所戦争の爪痕がある事を改めて知り、戦争体験者それぞれの思いや願いを参加者一人ひとりが感じ、平和への思いが深まるきっかけとなりました。